

松井班全体会議 2014.1.21.

自然災害時を含めた感染症サーベイランスの強化・向上に関する研究

STIサーベイランスの評価と改善

中瀬克己：岡山市保健所、山岸拓也、中島一敏、多田有希：国立感染症研究所感染症疫学センター、中谷友樹：立命館大学、川畑拓也：大阪府立公衆衛生研究所、堀成美：国立国際医療センター、神谷信行、杉下由行：東京都健康安全研究センター、高野つる代：横浜市磯子区福祉保健センター、尾本由美子：江東区保健所、高橋裕明、山内昭則：三重県保健環境研究所、白井千香：神戸市保健所、大西真：国立感染症研究所細菌第一部、檜原摩紀、持田嘉之：エスアールエル

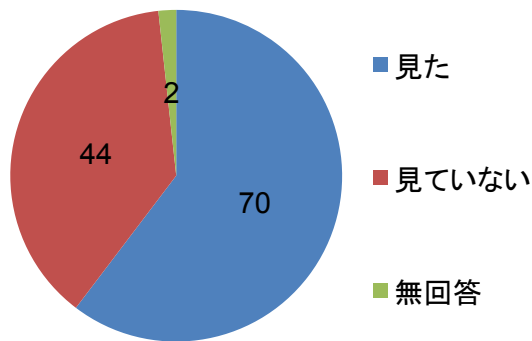


H25年度研究成果 概要

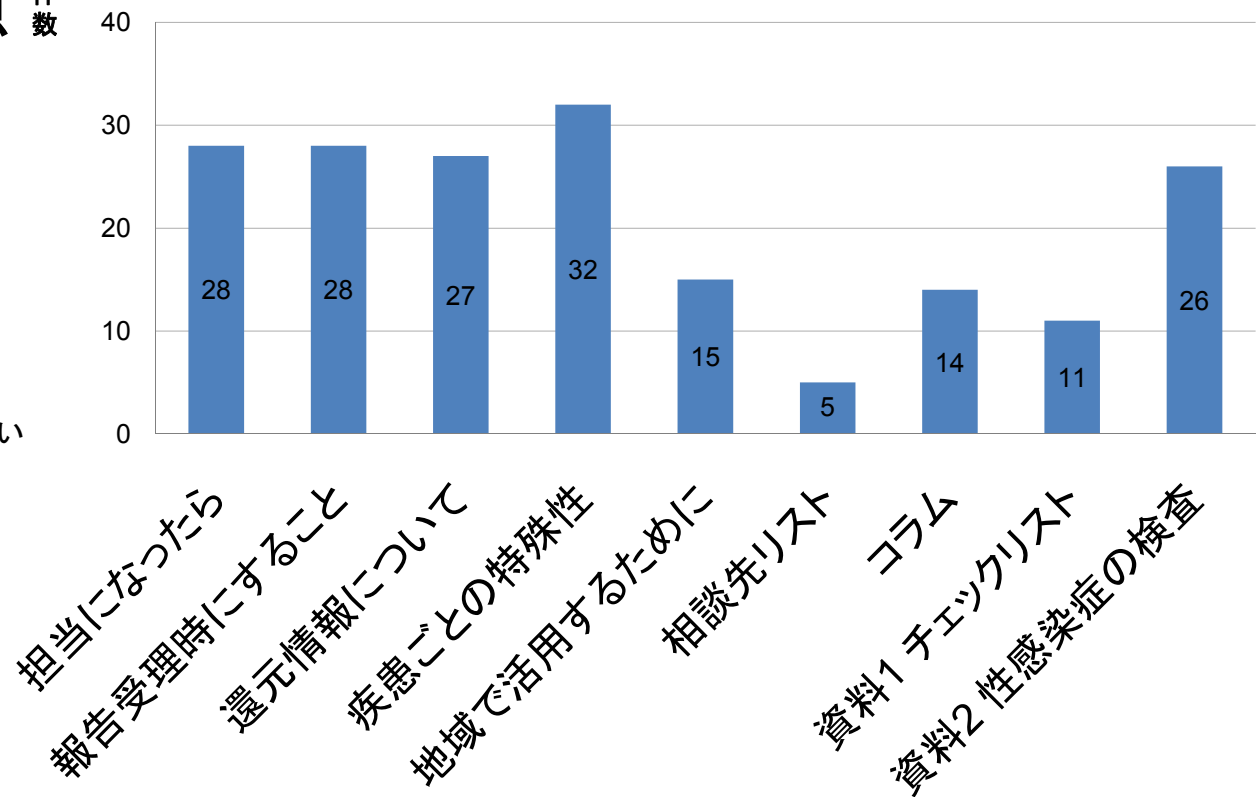
- STI発生動向調査活用ガイドラインの作成等地方自治体担当者の支援
 - 担当者の会議にて還元：地衛研公衆衛生情報研究協議会
 - 性感染症学会より奨励賞受賞
 - 地方感染症情報センターによる利用状況等把握調査
 - アウトブレイクへ対応の支援 梅毒
- 発生動向調査を補完する動向把握策等の検討
 - 検査結果サーベイランス試行：主要検査受託機関からHIVのWB法確認検査結果を提供頂き動向を把握
 - 強化サーベイランスによる詳細把握：三重県
 - パートナー健診による診断困難者の推定

性感染症サーベイランスの運営と結果 活用に関するアンケート H25年12月

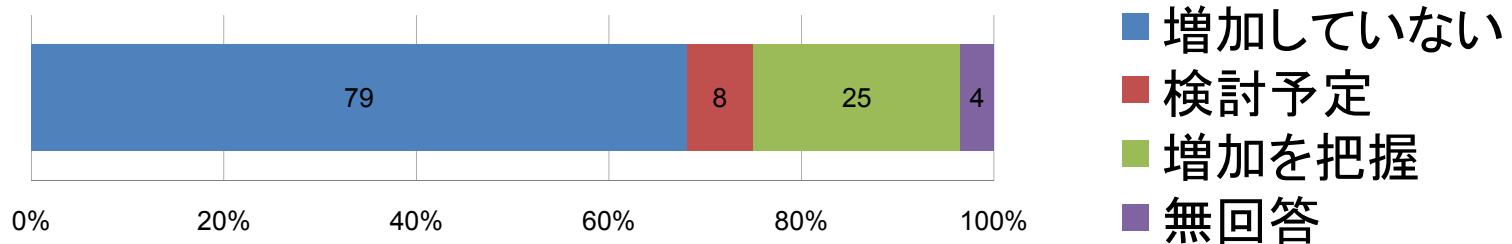
‘14年1月17日時点 件数
回答数 115
回答率 52.3%



見た場合、参考になった項目(複数回答)

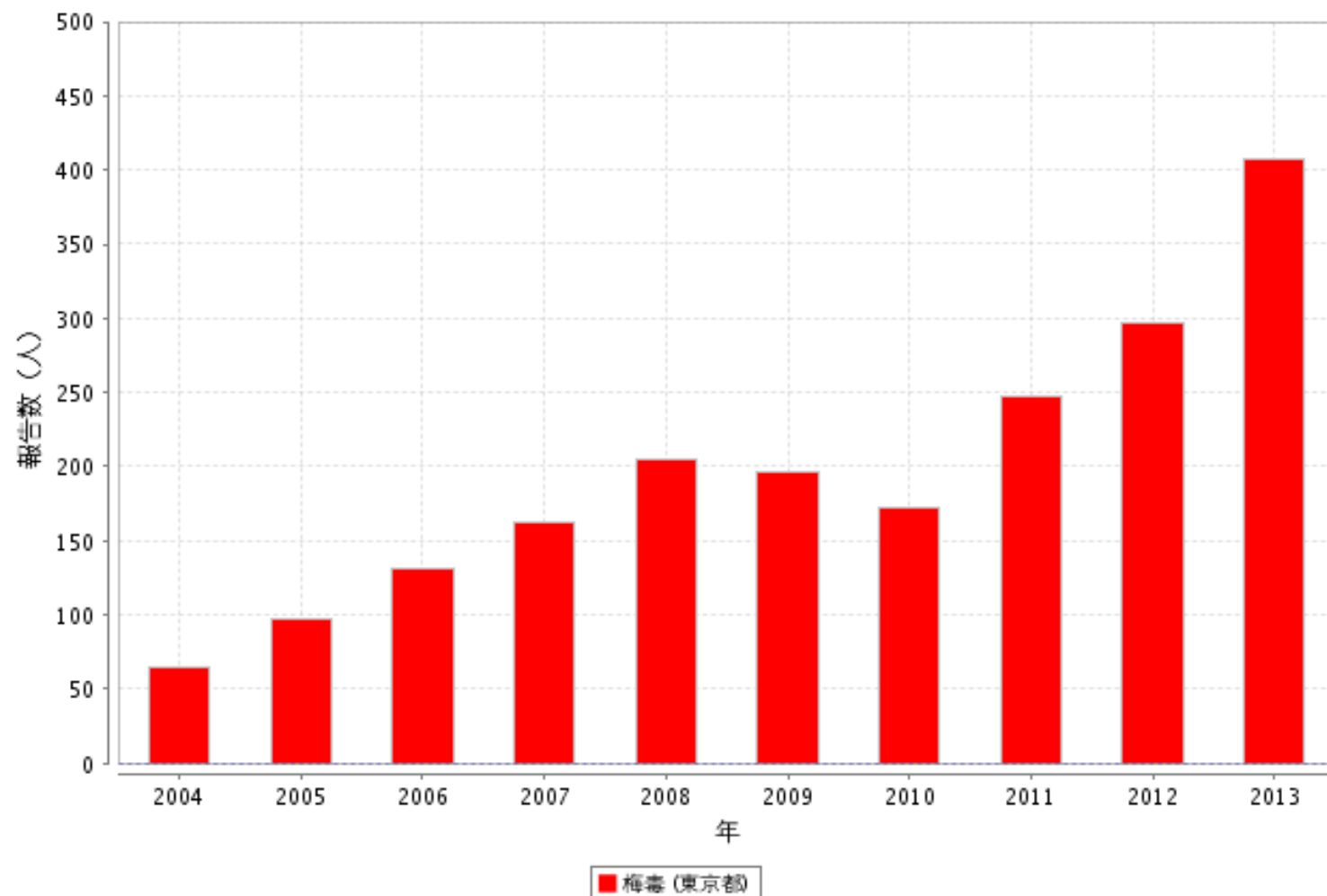


■ 梅毒報告の増加について検討されましたか



- 集団発生したあるいは疑った疾患名は？
 - 梅毒が昨年の倍以上、C型肝炎、アメーバー赤痢
- その際、何らかの対応を行いましたか？
 - 拡大防止策(エイズ診療拠点病院へ情報提供と届け出の徹底依頼) 1
 - 行わなかった 2

東京都 梅毒 3年間増加



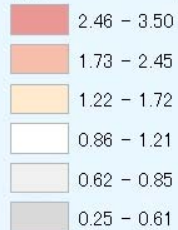
バーチャート凡例

梅毒年間報告数(両性)推移 (2010年総人口あたり)



都道府県コロプレス凡例

梅毒2011-2013年報告数/2006-2008年報告数



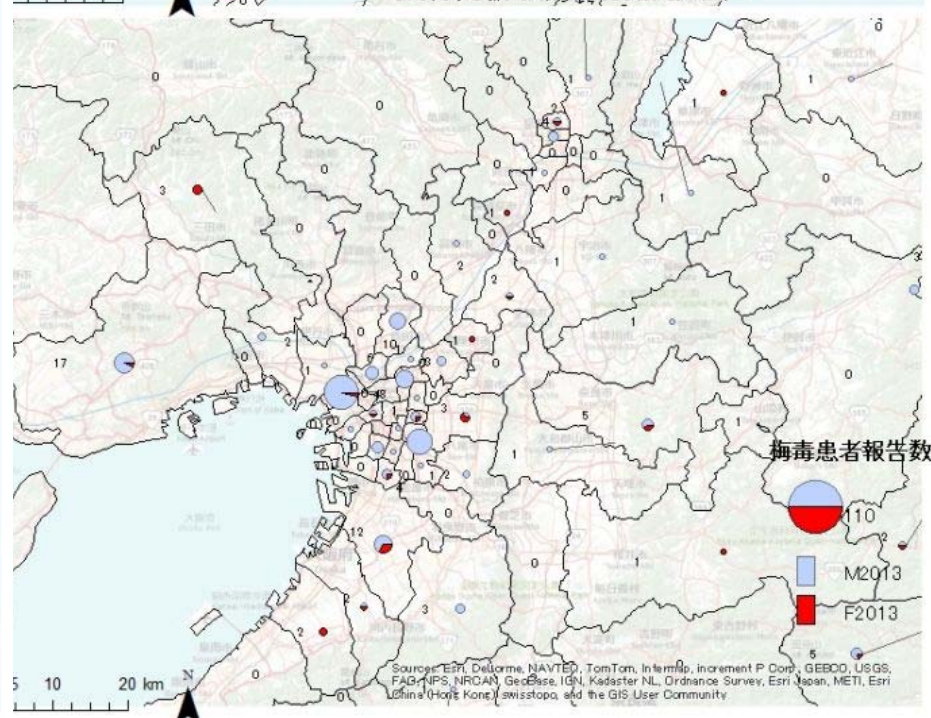
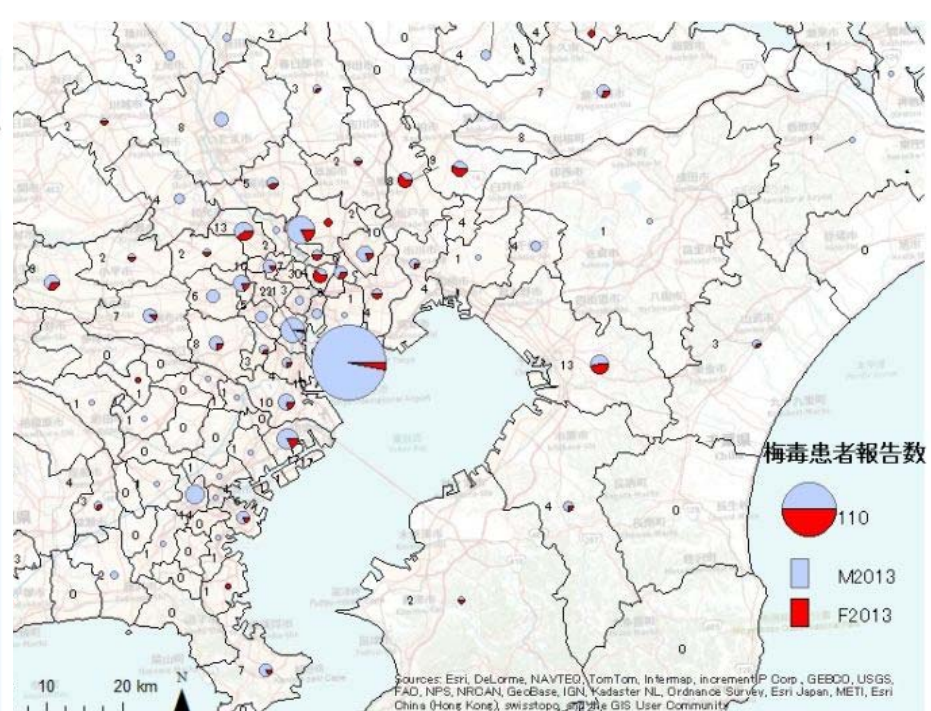
↑ 増加傾向

横ばい傾向

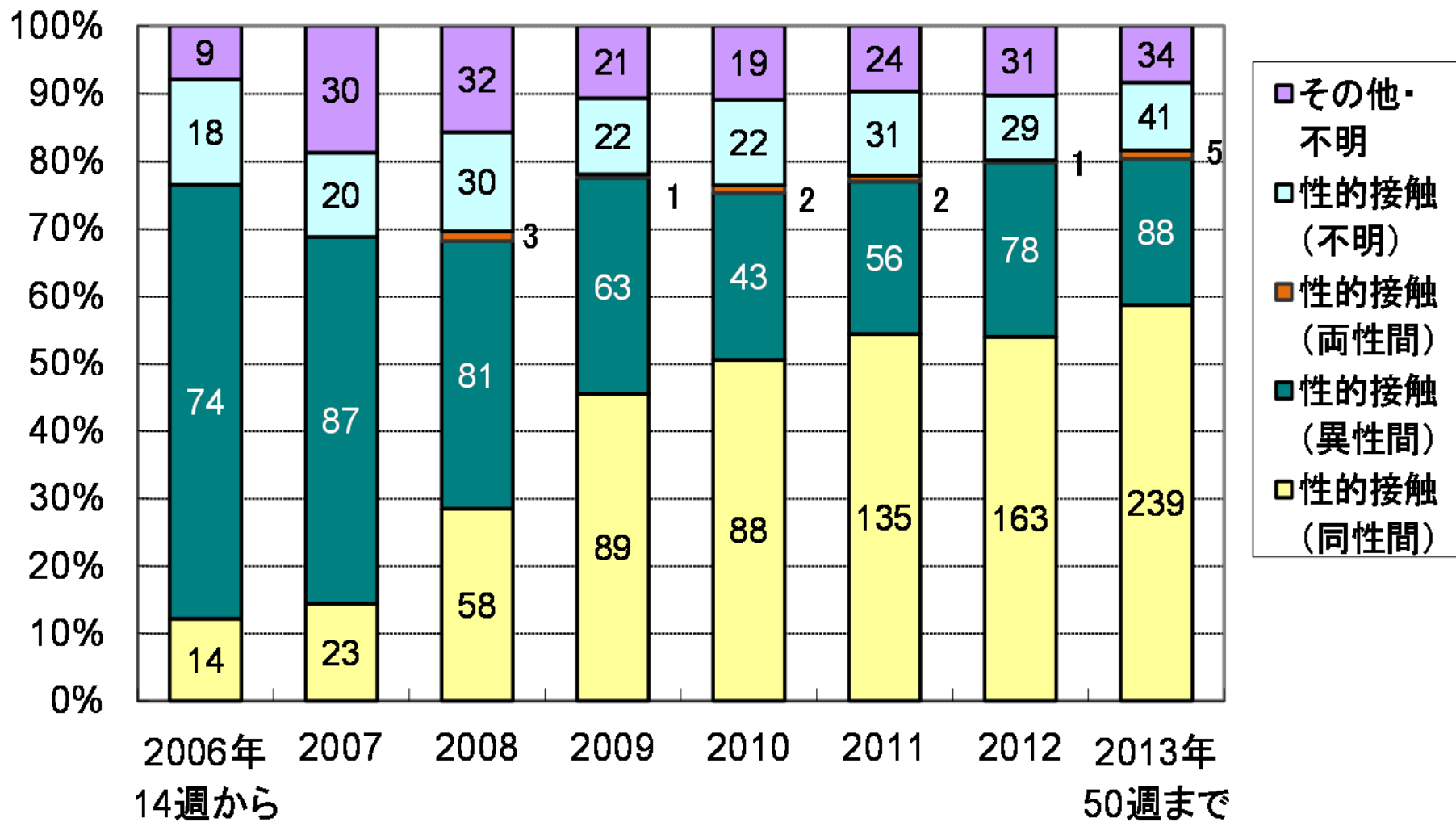
↓ 減少傾向

0 100 200 400 km

Sources: Esri, DeLorme, NAVTEQ, TomTom, Intermap, increment P Corp., GEBCO, USGS, FAD, NPS, NRCAN, GeoBasis, IGN, Kadaster NL, Ordnance Survey, Esri Japan, METI, Esri China (Hong Kong), swisstopo, and the GIS User Community

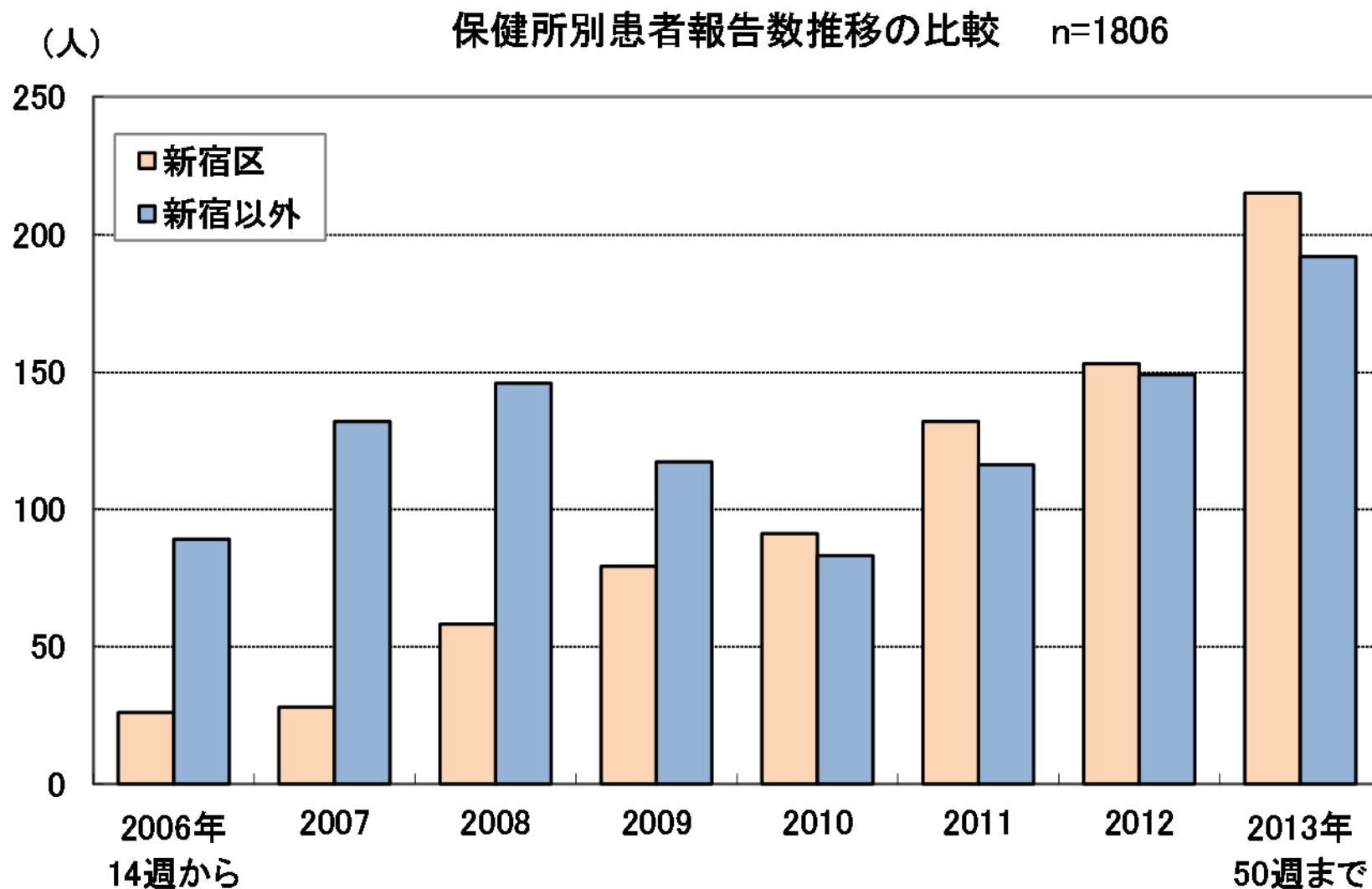


東京都 梅毒感染経路

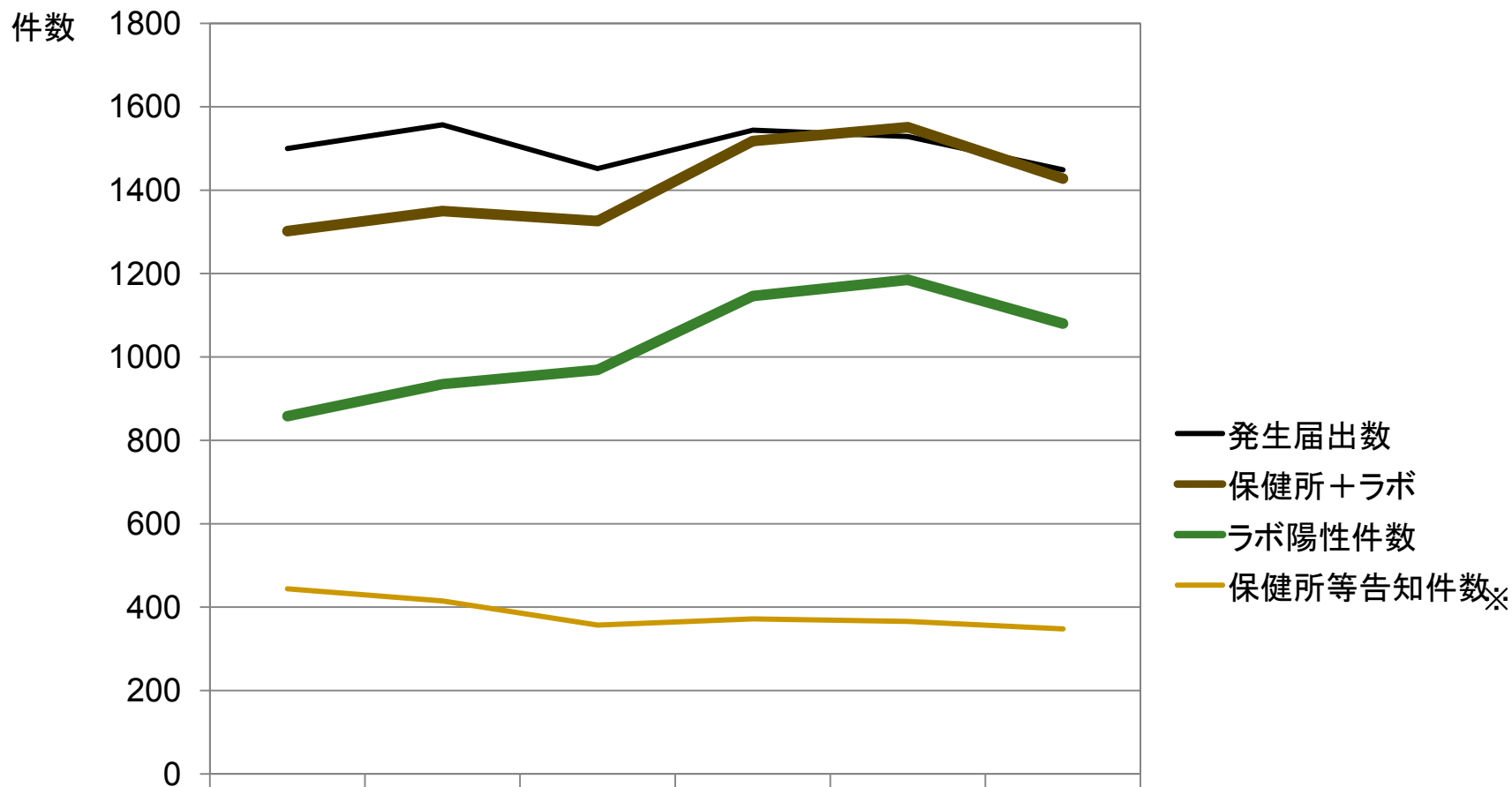


東京都 梅毒 報告保健所別動向

新宿区が多いが他地域でも増加



エイズ動向委員会報告数と検査陽性件数の比較

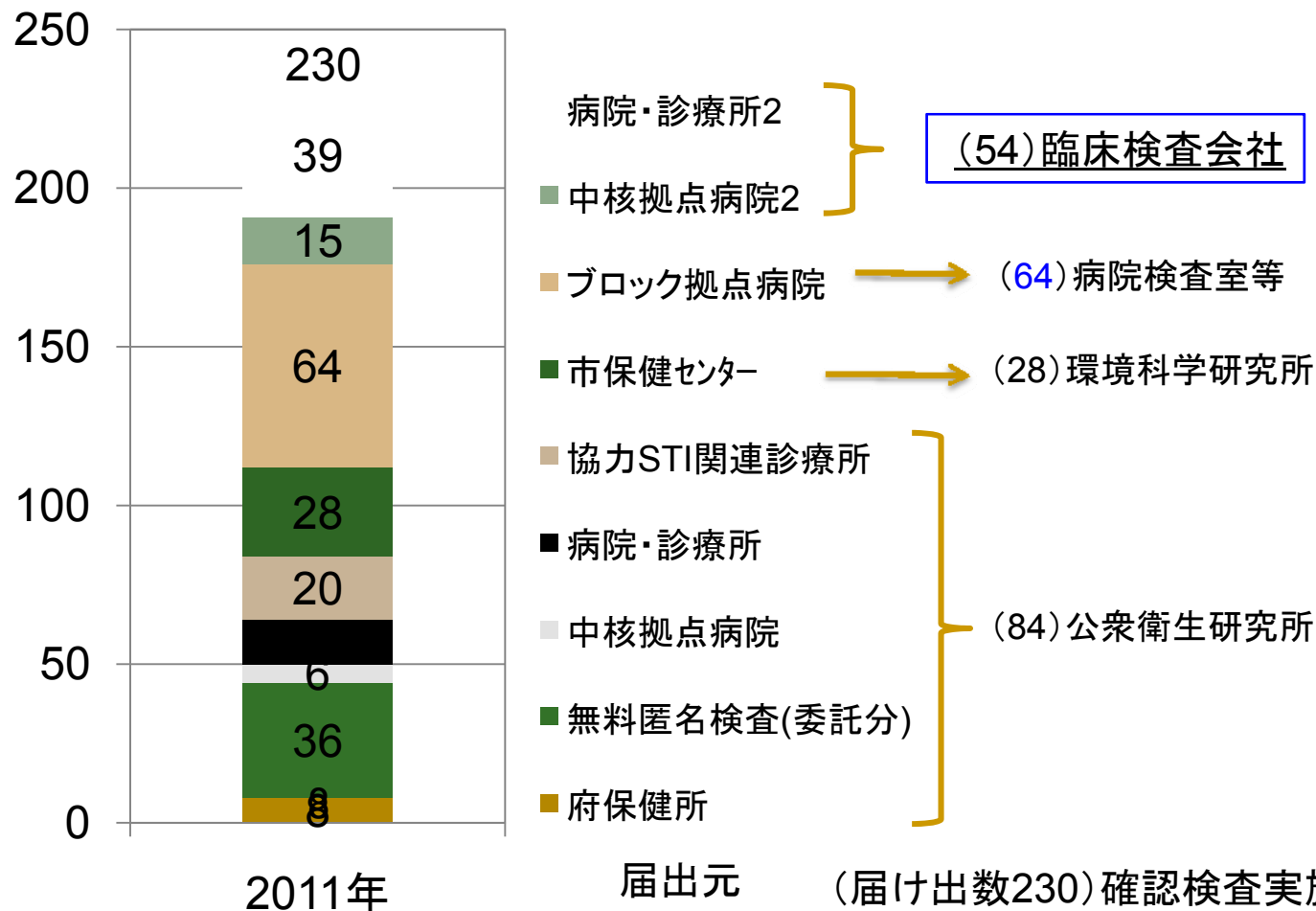


	2007	2008	2009	2010	2011	2012
発生届出数	1500	1557	1452	1544	1529	1449
保健所＋ラボ	1302	1350	1326	1518	1551	1428
ラボ陽性件数	858	935	969	1146	1185	1080
保健所等告知件数	444	415	357	372	366	348

2011年 WB陽性_{n=1181}* 届け出_{n=1529}



大阪府内のHIV/AIDS発生報告における 届出元医療機関の内訳と報告数



確認検査陽性数112
最大58件の未報告？

(複数回検査・他県報告事例を含む)

確認検査陽性数64？
0件の未報告？

確認検査陽性数33
5件の未報告？

確認検査陽性数98
14件の未報告

(報告医療機関へ届け出状況確認、報告率 86%)

2011年の実際の陽性判明数は、 $230 + 58 + 5 + 14 = 307$ 件だった？(報告率75%?)



検査結果サーベイランスの検討

- 検査受託会社より提供されたWB法でのHIV抗体確認検査陽性数はエイズ動向委員会（発生動向調査）の動向と比較的一致しており、保健所等における陽性告知件数を補完し、非常に重要な資料となり得ることが示唆された。
- 保健所等検査を加えても一定程度の未報告があると考えられることから、都道府県ごとの活用による動向把握精度の向上、報告率向上にも寄与できる可能性が示唆された。

強化サーベイランス 三重県

- 三重県：症例ごと報告、検査契機、無症状病原体保有者などを追加
- クラミジア無症状
 - 泌尿器皮膚科：8%、主にパートナーが有症状で受診
 - 婦人科：42%、半数が妊婦検診
 - 男女で受診契機が異なる、診断されたパートナーへの対策を検討する必要がある
- 淋菌 女性
 - 検査数がクラミジアの1/10程度→ 無症候感染者の報告が少ないことと関連か
 - 報告医療機関が行っていたパートナー健診の勧奨による早期発見の意義が推定された。

課題

- リスクアセスメント としてのSTIサーベイランス
結果の発信
- 災害時の性感染症動向によるリスクアセスメント
 - 国際的には被災民における性暴力は留意事項

オランダ：公衆衛生部門（GGD）による 性感染症 接触者健診拡大の試み

◆実地・評価主体：ロッテルダムとアムステルダムのGGD

◆目的：現在のパートナーへの連絡システムの改善

旧来法：“**Contact Card**”に医師がサインして渡す

◆新たに導入するシステム

Suggestatest.nl メール、ショートメール等で連絡可能

◆システム上、カルテの症例データとのリンクにより、介入レベルや介入後の効果の評価が可能に

◆パイロット調査：2012年3～7月の4か月間

◆初期評価 2014年1月3日に公開

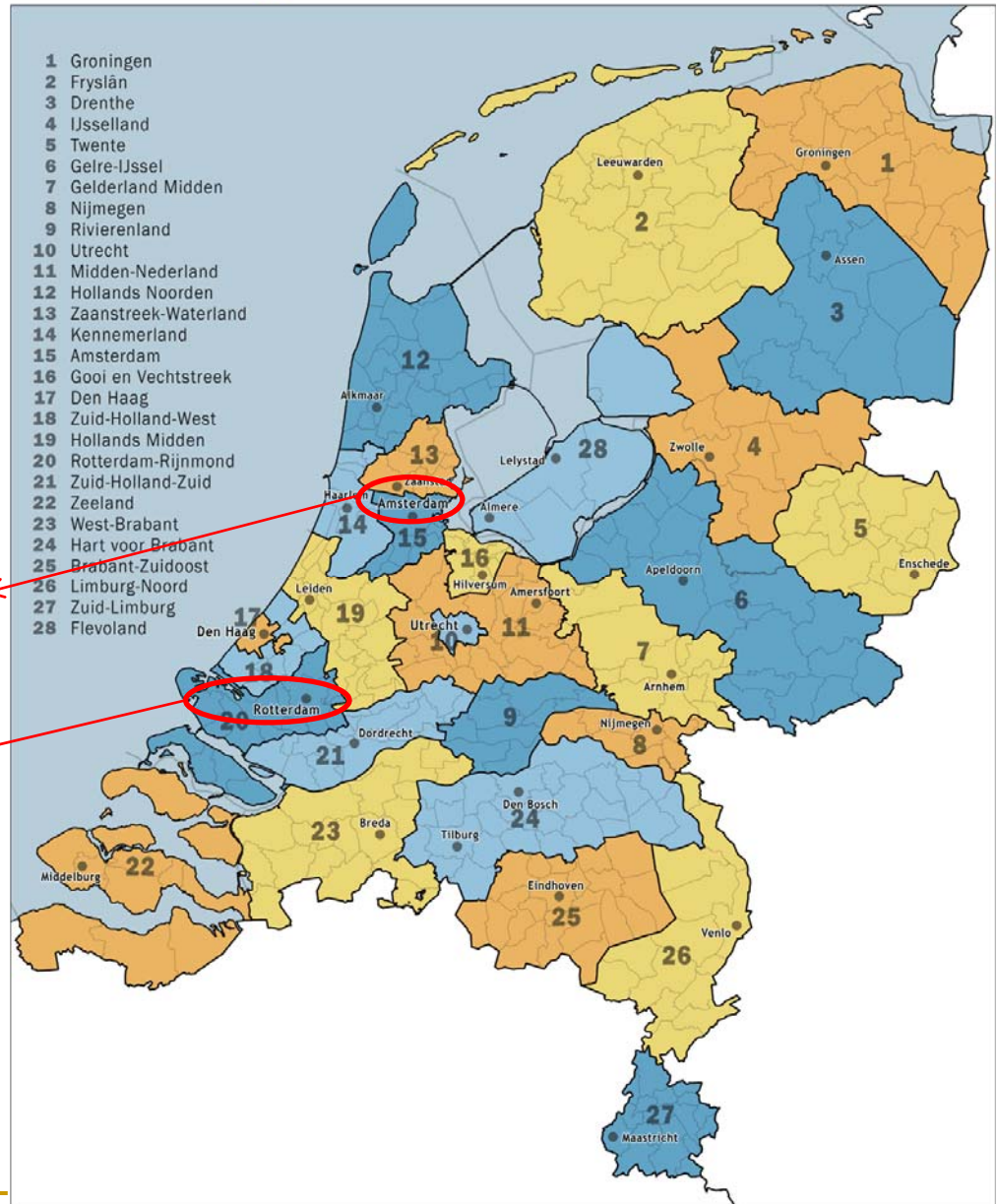
今後、地域の拡大、開業医との連携を検討

公衆衛生の地区分け

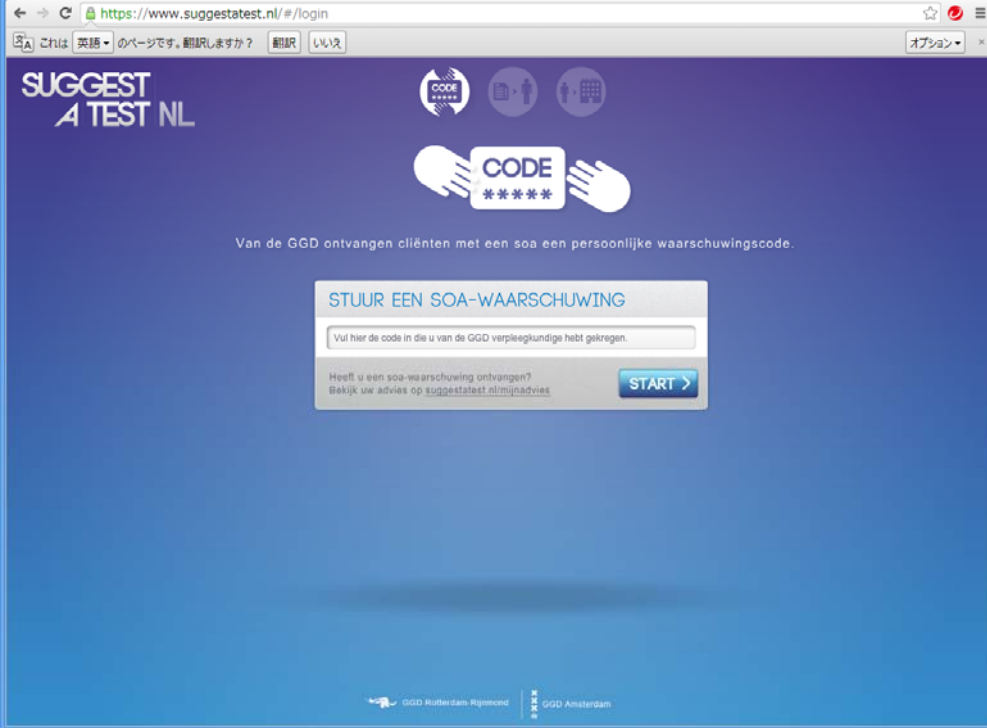
28 GGD regio's

アムステルダム

ロッテルダム



GGDは
STIクリニックを併設し、
無料で検査治療を提供



Sex Transm Infect. 2014 Jan 3.
Initial evaluation of use of an online partner
notification tool for STI, called 'suggest a test': a
cross sectional pilot study.

パイロット調査期間: 2012年3～7月
SAT Codeを受け取った症例数: 988

988例のうち139例(14%)がSATを利用、505例に検査のための連絡を実施。

利用した連絡方法
テキストメッセージ 84%
メール 15%
88% は匿名で連絡。
異性間で感染した男性とMSMが利用

ロッテルダムでは67の利用者のうち、リスクの発生していた接触者56%に連絡が可能。
連絡をした225人のうちの213人はSATを利用。

連絡を受けた人の58%は SATのホームページにアクセスをしており、20%はSTIクリニックを受診。
コンタクトカードを受けた症例の45%、SAT経由で受診した症例の28%が、STI陽性であった。